

(様式1)

自 己 評 価 表

愛媛県立今治西高等学校校定時制

学校番号 14

教育方針	知・徳・体の調和のとれた健全な心身の発達を目指し、個性豊かな人間の育成を期する。	重点目標	1 温かい人間性と豊かな社会性を身に付けさせる。 2 高い知性と豊かな創造性を養う。 3 強い意志とたくましい体力を培う。
-------------	--	-------------	---

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方針
学習指導	教科指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態に応じた分かりやすい授業を実践して、授業満足度・理解度80%以上とする。 A：80%以上 B：79～77% C：76～74% D：73～71% E：70%以下 ・少人数の特性を生かして、<u>アクティブ・ラーニングの手法を取り入れるなどの授業改善を行う。</u> 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒アンケートでは、授業に満足している生徒は86%と高いが、授業を理解できると答えた生徒は84%、積極的に授業に取り組んでいる生徒は78%と、生徒の主体的で深い学びには到達できていない。 ・1～4年合同での研究授業を1回実施するなど、研修を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各生徒の習熟度に合わせた課題の出し方を研究し、生徒自身の達成感・充実感を主体性につなげられるような取組を実践する。 ・ICT機器を積極的に活用する。また、教科等横断的な視点に立って、教材研究を行い、授業に生かす。
	個別学習指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・習熟度・進路希望に応じて、0限を利用した個別指導を行う。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・0限で学ぶ生徒は令和2年度2名、3年度は3名の予定であり、定着している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的に、進路に応じた指導を徹底し、個々の学力を伸長する。
生徒指導	規範意識と基本的生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・年間出席率95%、皆勤率80%以上を目指す。 A：95%以上 B：80%以上 C：94～92% D：79～77% E：91～89% F：76～74% G：88～86% H：73～71% I：85%以下 J：70%以下 ・遅刻・欠席など、保護者との連絡を徹底する。 ・教員が率先して、挨拶を励行する。 ・交通事故・交通違反ゼロを目指す。 	C	<ul style="list-style-type: none"> ・2月までの出席率92%は、皆勤率は72%で、目標は達成できなかった。一部の不登校傾向のある生徒、遅刻など基本的生活習慣の身に付いていない生徒への指導が課題である。 ・一部の生徒は、本人・保護者との連絡がなかなかとれない。 ・挨拶に限らず、声掛けを実践している。 ・交通事故が1件（バイクの転倒）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・欠席や遅刻をなくすこと、連絡や報告を確実にすること、締切の遵守や挨拶など、基本的生活習慣を身に付けることが学びの礎になることを教員と生徒の共通認識とした上で、あらゆる教育活動の中で指導していく。 ・自動二輪車・自動車の免許を取得する際に、十分指導をする。自転車利用時のヘルメット着用率100%をめざす。
	学業と就業の両立支援	<ul style="list-style-type: none"> ・個別面接を、年間6回以上行う。 A：6回以上 B：5回 C：4回 D：3回 E：2回以上 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・個人面接の時間として設定されている3回に加えて、気軽に生徒が教員と話す姿が見受けられた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の信頼を第一に考えて、すべての教員が情報を共有した上で、連携して相談を含む生徒の支援を行う。
	学校行事・部活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事での役割分担を明確にして、生徒全員が主体的に参加する環境を作る。 ・四国大会・全国大会への出場を目指す。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・中止・縮小の学校行事もあったが、生徒会を中心にそれぞれ行事に参加できた。 ・部活動関係の大会は中止となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より自主的に生徒が活動できるように、生徒の意見を出せる場を作る。 ・部活動での目標をこまめに設定する。
進路指導	進学・就職指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・全員の希望する進路実現を目指す。 ・三修制を選択した生徒の進路指導を効果的に行う。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度の卒業生は、年度当初に希望していた進路実現を果たすことができた。 ・三修制の卒業生は、向上心をもって学校生活に取り組み、進路実現を果たした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路ガイダンス、個別面接、保護者懇談の充実を図り、生徒自身が真剣に自分の生き方を考えて、それを相談できる場を設定する。
業務改善	職場環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の効率化を図り、教職員の勤務時間・休憩時間を守る。 ・<u>コミュニケーションの活性化を図る。</u> 	C	<ul style="list-style-type: none"> ・勤務時間を守るという意識は高く、時間外労働に関する問題はない。 ・校務分掌の面で、各教員が一人で仕事を抱えている。連携が必要だ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校務支援システムの活用を推進し、事務作業の削減・簡略化を目指す。また、非常時には相互に仕事を補助できるような体制を整える。

※ 評価は5段階（A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった）とする。